

## 令和3年度東京都感染症医療体制協議会（第2回）概要

### 1 開催日

令和3年10月22日（金曜日） ※書面開催

### 2 議題

検査体制整備計画改定案（骨子）について

### 3 意見書提出依頼

「新型コロナウイルス感染症の検査体制整備に関する指針」について」（令和3年10月1日付厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部事務連絡）では、都道府県は外来・検査体制に係る地域における協議の結果を踏まえつつ検査体制について点検を行い、更なる体制整備について具体策を策定することとされた。そこで本協議会各委員に対し、上記議題について書面にて意見を聴取した。

### 4 意見概要

検査体制整備計画改定案（骨子）について、本協議会へ諮問したところ、都改定案のとおり概ね了承された。

ただし、次のとおり個別の意見が提出された。

## 委員から提出された意見（要旨）

### 【今後の検査需要の算定について】

#### ○ 基本の検査需要にインフルエンザの流行分としての3割を上乗せして算定することは妥当

（個別の意見）

- ・ 基本の検査需要の見込みの算出について、8月ピーク時の新規陽性者数をベースにしつつも見落としを想定し、需要見込みを上乗せする必要があるのではないか。
- ・ インフルエンザの流行に伴う発熱患者等の検査需要について、例年の新型コロナの発生数が増加した場合、インフルエンザ発生数が抑えられているので、3割の上乗せは妥当であると思われる。
- ・ 令和2年度との比較を行っているが、今年度は昨年流行しなかった影響で、例年よりインフル患者が増える可能性もあるため、3割で算出するのは予想が甘い。ただ、コロナ・インフル同時検査を考慮して、重複すると考えて検査数を算出することは可能ではないか。

### 【検査体制について】

#### ○ 検体採取体制において、インフルエンザ・コロナウイルス同時検査が可能なキットの活用を促進する方針は妥当

（個別の意見）

- ・ 新型コロナの発生数が少ないと、逆にインフルエンザの発生数が増加すると思われ、インフルエンザ・新型コロナウイルス同時検出可能な抗原検査キットの施行が望まれる。
- ・ インフルエンザ・新型コロナウイルス同時検出可能な抗原検査キットを活用する医療機関（診療所・クリニック）を東京都主導で増やし、公表していただきたい。
- ・ 今回、SARS-CoV-2 抗原定性検査が市販されるようになったが、従来から要望のあるインフルエンザ抗原定性検査キットの市販も、この際、一気に進める必要があるのではないか。

#### ○ 各機関の検査能力の算定根拠を明確にすべき

（個別の意見）

- ・ 「民間検査機関 約6.9万」とあるが、自費検査や「行政検査以外」が増えてきた状況の中で、民間検査機関が「行政検査」をどのくらい受託できるか明確ではない。

#### ○ 検査体制だけではなく、医療提供体制等を含めた体制の見直しの視点も重要

（個別の意見）

- ・ 入院適応のある患者を迅速に入院させ、また、軽症の方の不要な入院（不安だからという入院）を避けることによる医療資源の効率的な利用をどう行うか。第5波の反省を含めた体制の見直しが重要。
- ・ 検査体制の強化に異論は無いが、陽性者の受入体制は充分か。陽性者の受入体制とセットでなければ、第5波の時のように、入院が必要なのに入院できない自宅療養者が増えてしまう心配がある。

### 【感染急拡大への対応について】

#### ○ 検査体制強化の要請の基準として、陽性率5%とするのが良い。モニタリング検査の活用も要検討

（個別の意見）

- ・ 感染急拡大に対応するための検査体制強化の要請について、陽性率10%を基準としているが、第2波から第5波まで陽性率5%を超えると必ず感染拡大しているので、陽性率5%を基準にした方が良いので

はないか。

- ・モニタリング検査の成果を詳細に解析し、時期的な陽性率の変化など、有効な利用法を考えてほしい。

### **○感染拡大時において、役割分担に応じて医療機関の検査体制を考えることが重要**

(個別の意見)

- ・コロナ重点医療機関に指定されている医療機関は、入院患者の対応、ワクチン接種の職員派遣等、負担が非常に大きい。コロナ患者の入院を多く受け入れている医療機関など、役割に応じて検査数を増加させる体制を構築することが必要である。
- ・今後は、検査診断業務を診療所及び地域の病院で行い、感染症指定医療機関等の基幹病院は入院診療に特化する体制が重要と考える。

### **○保健所の濃厚接触者への検査は外部委託の活用が必須**

(個別の意見)

- ・保健所は濃厚接触者等への対応（検査）を行うが、感染拡大時の検査方法の切り替え（委託活用等）の準備が必須である。

## **【都民等への情報提供の取組について】**

### **○検査を受けられる医療機関へのアクセスのし易さや検索サイト等の環境の充実が求められる**

(個別の意見)

- ・大多数の検査機関は予約制であるが、予約無しで検査を受けられる場を増やす必要がある。
- ・検査を受ける場所がとにかく探しにくい。インターネットで検索をかけた場合に、検査を受ける場所が一番上に出てくるぐらいのサーチエンジン対策が必要である。SNSなども活用できるとよい。